



81年の間、札幌に住んでおりますが、先日は大変な経験をいたしました。
久しぶりに子どもたちの笑顔と歓声に囲まれて安堵の気持ちが湧いて
きたのは私たちスタッフです。

子どもたちは勿論、ご家族の皆さんもご無事と聞いて大きな安堵でした。
きょうから平常の園生活に戻りました。よろしくおねがいたします。

■つぼみさんたちの生活を6ヶ月目に
入りました。

自分たちの特色でもある聞く力を
日に日につけてきました。

毎朝20分から30分、ホール1番先
に入って、楽しく活動して
おります。

曲に乗ってダンス体操。
曲に合わせてランニング。
グループごとにマット運動。



これ等は全て担任やスタッフの
指示に従って動いております。

反応には個人差はありますが、

このようすはきたえ〜るで確認
できますので、お待ちください。

しっかりと小脳を刺激しております♡

■これ迄我が国は文部科学省統轄の
幼稚園と厚生労働省統轄の保育園の
二つの制度が家庭の子育てを支援して
来ました。

しかし、数年前より、子育て支援の更なる
充実させるべく内閣府が中心となって

新制度が発足しました。

次のとおりです。そして、今年度の
札幌市の私立幼稚園の新制度
分布状況です。

- ・私学助成の幼稚園 41園
- ・施設型給付の幼稚園 54園
- ・幼保連携型認定こども園 42園
- ・幼稚園型認定こども園 8園

計 145園

本園は、ご承知のとおり、ご家庭の負担軽減と働き方
改革を目標に施設型給付の幼稚園へ、明年の
4月よりの移行に向けて準備しております。

(心の育ちシリーズ) 心の育ち

子ども
幼児は環境で育つ これは正に事実です。

それでは 子どもの環境を考えてみましょう。
大きく分けて、家庭と言う小さな環境と子ども集団と言う幼稚園
の二つに分けられます。

この二つの環境はお互いに補完しあって子どもの育ちには
大きな役割を担っております。
ここでは集団生活の場である 幼稚園と言う環境を考えましょう。

建て物と教室と机・椅子・ピアノなども環境ですが、子どもたちへ
大きな影響を与えるのが人的環境 即ちおともだちとスタッフたち
なのです。

幼い子どもたちが生活をする場、これ考えた時は46年前でした。
温かくて家庭的で そんな雰囲気の中で子どもたちを迎えたいとの
想いは年を追って強くなって来ております。

子どもたち一人ひとりの笑顔を思い浮かべながらその日の準備を
すすめるスタッフたち。

自分たちの目標に向って、日々お互いに切磋琢磨を続け、励まし
合い、助け合って共に喜び合う子ども集団。

子どもたち一人ひとりの心はしっかりと育っております。
お父さんお母さん いつまでも大切にしてください。